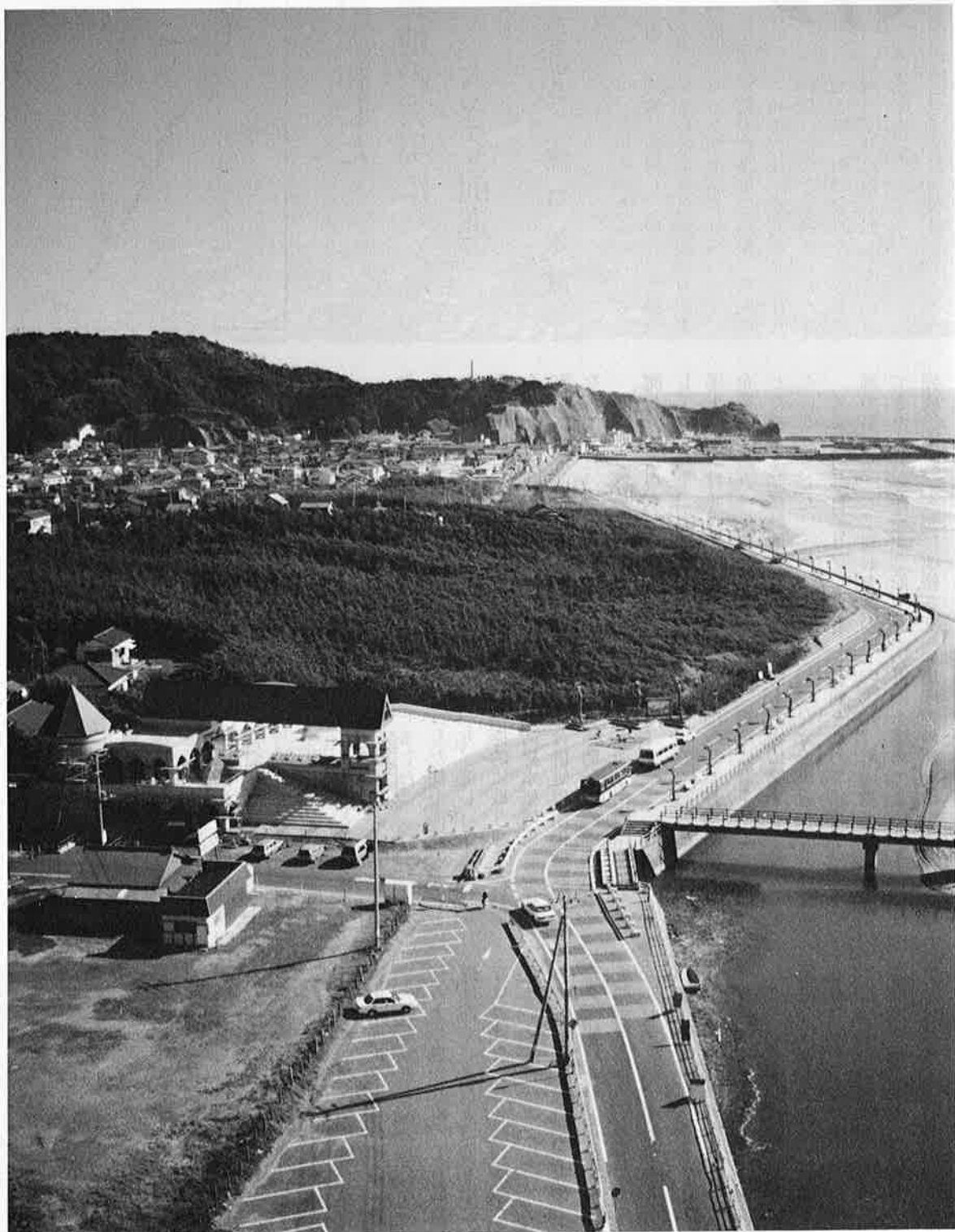


# おんじゆく

第326号

町勢特集号

平成2年12月



進む 自然と産業が調和した海の保養地づくり

## ●はじめに

一九九〇年の最後をかざる町勢特集号を発行します。この特集号は、町政の一年間のあゆみと、新しい年の方針を統計資料とともに編集し、みなさんにお知らせするものです。資料を寄せられた関係機関の方々に厚くお礼申し上げます。

## 自然と産業が調和した

### 海の保養地の実現に

### 大きく前進

御宿町長 滝口 栄蔵

二十一世紀を間近に控え、国際化、情報化、高齢化の進展等により経済社会が大きく変貌しつつある今日、町行政

は、住民の皆さんのニーズを的確に把握し、増大、多様化する行政需要に適切に対応することが要請されています。

私も町長就任以来、「町民のための行政」を基本に、住民の皆さんのご支援をいただきながら、町の特性を活かした町づくりに取り組んでまいりました。

「自然と産業が調和した海の保養地・御宿」―恵まれた

自然を守り、基幹産業である農・漁業の振興を図ることを基点に、美しい住環境と道路をはじめとする都市機能を充実させ、民間活力を導入して、豊かで活気ある御宿町をつくるのが大きな目標であります。

平成二年は、この目標の実現に向け、各種施策の具体化を図るべく最大限の努力を傾注いたしました。

なかでも、農村地域の活性化と公正な行政を実行するため取り組んできた、布施・高山田地域の水道拡張事業は順調に進展し、一部地域で給水を開始。平成三年度内には全町給水が達成できる見通しとなりました。

同時に、将来の水需要を予測して、新規水源確保を検討してきた結果、夷隅・安房地区十七市町村共同で広域水道企業団を設立。長期的で安定した給水体制が整備されることになりました。

また、町独自のリゾート計画の第一歩として建設を進めてきた「月の沙漠記念館」が完成。ブロンズ製に改修された記念像の除幕式と合わせ、

盛大な記念式典を挙行いたしました。当初の予想を上回る入館者を集めています。さらに、新しい海岸道路「月の沙漠通り」の開通や地曳橋周辺の歩道整備に加え、夷隅開発B地区から実谷、立山を経て、夷隅開発C地区に通ずる道路と山和田・サンドスキーリゾート関連道路の基本路線が決定。用地測量を経て用地取得に入る段階となるなど、道路網の整備は、大きく前進いたしました。

こうした都市機能の充実を図る一方、美しい環境づくりにも積極的に取り組む、浜地区の生活排水処理施設の建設や小型合併処理浄化槽設置に対する補助制度の導入など、きれいな海、川の保全に努めました。

また、質の高い海水浴場形成のため、「モデル海水浴場計画」策定に着手すると共に、海水浴場に関する条例を制定し、安全で快適な海浜環境の整備を進めています。

次に、町の重点施策として計画を進めてまいりました役場庁舎の建設は、三月議会で須賀地先への移転が決まり、

基本設計の完成を受けて現在、造成工事を開始。実施設計が出来上がり次第、建設工事に入る予定です。

また、高齢化社会に対応した地域福祉センターの建設にも着手。町社会福祉協議会を中心とした各種福祉活動の充実を図ると同時に、世代を越えた地域のコミュニティづくりを推進してまいります。

このほか、産業振興、教育文化の向上など、全ての分野で大きな成果をみましたが、住みよい豊かな町づくりの目標は高く、まだまだ取り組まなければならない課題が残されています。

今後も、住民の皆さんの声に耳を傾け、職員と一体となって諸施策の推進にあたりま

す。二十一世紀へ躍動する町・御宿―この「町勢特集号」は、町の一年間の歩みをふりかえり、新たなまちづくりの材料とすべく、統計数値とともに編集し、みなさんにお届けするものです。町の姿をご理解され、今後も一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。





1990年

平成二年

町の動き

- 【一月】
  - 一日 元旦歩こう会
  - 四日 新年祝賀式
  - 七日 消防団出初め式
  - 一五日 成人式
- 【二月】
  - 一日 夷隅郡一周駅伝
  - 一八日 衆議院議員選挙 (投票率83・79%)
- 【三月】
  - 八日 第一回定例会開会 (一四日)
  - 一七日 消防団が無火災表彰を受ける
- 【四月】
  - 一日 夷隅郡市広域常備消防スタート
- 【五月】
  - 一四日 第二、第四土曜日の閉庁始まる
  - 八日 月の沙漠通り開通式
  - 二七日 ミス月の沙漠コンテストを実施
- 【六月】
  - 二七日 第二回定例会開会
  - 御宿町海水浴場等に関する条例を県下で初めて制定
- 【七月】
  - 八日 月の沙漠記念像除幕式並びに月の沙漠記念館オープン記念式典
- 【八月】
  - 一日 南房総広域水道企
- 【九月】
  - 一五日 敬老会
  - 二〇日 第三回定例会開会
  - 三〇日 台風20号で災害発生
- 【一〇月】
  - 四日 役場庁舎用地造成工事に着手
- 【十一月】
  - 一五日 第三回メキシコ友好親善視察団訪墨
- 【十二月】
  - 一〇日 月の沙漠記念館入館二万人達成
  - 一五日 地域福祉センター起工式
  - 一八日 第四回定例会開会
  - 三一日 渚の火祭り

弥生美術館と月の沙漠記念館文化協

定締結

二日 花火大会

※布施地区の一部に念願の上水道給水開始

業団が発足

二日 花火大会

※布施地区の一部に念願の上水道給水開始

水道給水開始

一五日 敬老会

二〇日 第三回定例会開会

三〇日 台風20号で災害発生

四日 役場庁舎用地造成工事に着手

一五日 第三回メキシコ友好親善視察団訪墨

一〇日 月の沙漠記念館入館二万人達成

一五日 地域福祉センター起工式

一八日 第四回定例会開会

三一日 渚の火祭り

目次

- ◆行政報告 ..... P 2
- ◆町の動き ..... 3
- ◆行政全般 ..... 4
- ◆財政 ..... 5
- ◆水道事業・開発 ..... 6
- ◆建設 ..... 7
- ◆農業・漁業 ..... 8
- ◆観光・商工業 ..... 9
- ◆環境行政 ..... 10
- ◆国民健康保険 ..... 11
- ◆教育・消防 ..... 12
- ◆社会福祉・保健 ..... 13
- ◆資料編 ..... 14
- ◆暮らしのダイジェスト ..... 32
- ◆おんじゅくの唄 ..... 33
- ◆官公署・団体施設 ..... 34

## 行政の役割分担を

### 明確化

地方自治体の行政をめぐる内外の情勢は、最近大きな変容を示してきました。

特に国の時代から地方の時代が明確に打出され、自ら考え、自ら行い、つくる、そして、知恵とアイデアの最も

必要な時代に入りました。

こうしたことは、画一行政から個性化、多様化、特質の時代を迎えたこととなります。

更に複雑多様化する町民の求めに対処していくためには、行政の役割分担を見直し、民



住民一人ひとりが地域ぐるみ福祉の担い手

間活力を生かし、行政と民間との間や国・県との間の効率的役割分担を図る必要があります。

そして、二十一世紀を展望した簡素で効率的な行政を進めるためにも行政の原点である誠実で、ひらかれた、あかるい、そして、親切・公平な行政を進めることが求められます。

### 現在進めている 事業や課題

#### 一、マリリゾートの

##### 基礎づくり

御宿町にとっての町づくりの姿勢は、マリリゾートの最大の資産「海」を活かした自然と産業が調和したマリリゾートの創造であります。そのためには、四つのテーマがあります。

##### ① 人づくり

地域おこしに必要な、地域をよく知る、そして、創造力、感性をみがいた行動派人間を育てる必要があります。

#### ② 経済基盤づくり

リゾートには、産業の振興集積が必要です。また、リゾートにふさわしい、しかも関りのある新しい産業の振興。

#### ③ 環境づくり

リゾートで最も大切なものは自然風景、自然保護と資源の保護が大事、そして、地域全体の美化をはかる。

#### ④ イベントづくり

地域をよく知り、地域の歴史、風習をさぐる。地域独特のイベントをつくり出していく。地域の人たちが参加してイベントを作りあげていく。

#### 二、地域ぐるみ福祉

##### ネットワークづくり

世界に類をみないテンポで進む人口構造の高齢化や住民意識・価値観の変化に対応した福祉行政がますます大事になってきます。

地域福祉センターの建設をすすめています。この施設では、老人クラブを中心とした、おとしよりの生きがい、ふれあい、知恵の出しあい、スポーツによる汗の出しあいをしていただくための施設です。また、御宿の伝統技術をまも

り、次の世代へ引継いでいく場でもあります。

また、老人クラブによる奉仕活動によって、さわやかで豊かな福祉ネットワークの輪がひろがっています。

#### 三、農村地域への

##### 上水の給水はじまる

将来の水不足解消にも対応

上水道第二次拡張事業によって布施・高山田地区への給水工事が急ピッチで進められています。

また、将来の都市化や企業進出、リゾート施設の整備などによる水不足の対応として夷隅・安房地区を含めた、南部圏域広域水道整備計画にも着手しました。

#### 四、開かれた町政の拠点

##### 役場庁舎の建設

住民の対話とふれあいの場としての機能をもつ、時代を先取りした、新庁舎の建設を進め、周辺地域の発展と町民が誇れる、町民の共通の文化施設づくりをし、行政サービスの向上をはかります。

## 五、道路は利便性と文化性を

一般町道の改良整備はもとより、房総リゾート地域整備構想の対象地域である当町ではリゾート関連道路の整備が着々と進められています。

## 六、農・水産業の振興

磯根漁業の振興のためのアワビ・サザエの種苗放流や漁港の改良事業など生産基盤の整備を進めています。

また、林道の整備や転作奨励・水稲の共同防除、農地の流動化の促進をはかっています。

## これから取り組む

### 課題

## 一、変わる教育環境

「町づくりは人づくり」特にリゾートに欠かせないのが人づくりです。

心身ともに健康で知性・情操・体力のバランスのとれた、しかも国際化の時代に対応で

きる人づくりが求められます。情報化社会の進むなかで、

OA機器を導入した教育を進めることが大切であります。

また、夷隅郡教育委員会が来年三月をもって解散し、各町に教育委員会が設置されるので、今まで以上に地域の特長を生かした教育行政が必要となってきます。

## 二、福祉・医療の充実

健やかな老後を送るためのきめこまかな保健対策の充実と保健センターの建設による各種健康相談・健康教育が望まれます。

また、地域福祉センターの建設により、老人の健康増進、生きがい、コミュニティの増進がはかられます。また、おとしよりが培った伝統技術の継承がはかれることが必要です。

## 三、土地利用

土地利用計画は、住民福祉を基本とし、自然環境の保全を図りつつ、将来のグラウンドデザインとして、都市計画の導入を模索しながら、適切な土地利用計画策定のための住

民の同意づくりが必要で

## 四、生活環境の整備

上水道の農村地域への導入が進み環境整備が大きく前進しましたが、更に快適な環境づくりと河川・海水の水質をまもるためにも公共下水道の整備が求められます。都市計画導入と共に町全体の環境デザインづくりがこれからの課題であります。

## 五、産業の振興

本町の農業は、米を主体とした農家とその主流を占め、他の農作物の出荷は少ない。こうしたことから、良質米の栽培奨励と生産コストのダウンに努める必要があります。また、リゾートにふさわしい付加価値の高い農作物の生産を進めることが課題となります。

## 六、行政の近代化と

### コミュニティ形成

新しいコミュニティの核となる役場庁舎を建設し、時代を先取りする行政事務の拠点づくりと、OA機器の導入により便利で開かれた窓口事務を進めるとともに弱者対策として、公民館や地域福祉センターなどでも一定の窓口事務が扱えるよう配慮していきます。

年々活発になっていく公民館活動を更に充実させ、コミュニティづくりを積極的に推進していくことが望まれます。

## 政 財

### 行政課題達成へ 計画的な行財政運営

#### 財政の見通し

戦後の世界を支えてきた国際秩序は大きく変化し、国際社会における我が国を取りまく環境も大きな転換期を迎えています。

また、国際化や、高齢化社会への対応等、様々な期待とニーズに応じていく上で、

や地方公共団体の果すべき役割と責任は、ますます大きなものとなっております。

特に地方公共団体については、自主性、自律性を高め、地域の実情に対応して住民生活に密接に関連する事務、事業の充実を図るため、一層徹底した行政改革の推進を迫ら

御宿町においても、長年の課題であった庁舎、保健センターの建設、水道施設の拡充、広域常備消防体制の整備をはじめ、道路網の整備、産業の振興、福祉や教育の充実等増大する行政需要に的確に対処し、住民福祉の向上を図らなければなりません。

これらの行政課題を達成する為、今後も自主財源の確保と補助金等の活用に加え、事業の厳選と計画的な行財政運営に努めるとともに、経費の節減と職員の適正配置等に配慮し、健全な財政運営に努めていきます。

# 水道事業

## 布施 地区拡張事業 高山田 一部で給水開始

### 将来に備え広域水道企業団

三か年計画で実施している布施・高山田地域の拡張事業は二年目を迎え、全体計画の五〇%の本管理設工事が完了。さらに一日も早い完成をめざし、現在、追加工事発注の準備を進めています。

また、平成元年度に本管工事が完了した一部の地区（主に七本地区）三十六戸では既に給水を開始しました。しかし、井戸水との併用が多いた



全町給水へ向け、急ピッチで進む本管理設工（高山田地先）

めか、使用水量は少なく、水質管理が今後の課題となりそうです。

ちなみに、平成二年度上半期の町全体の給水戸数は千八百九十五戸で、使用水量が三十六万三千トン。一戸一か月当たりの使用量は約三十トンでした。

このうち、御宿台（B地区）は百四十四戸で一万六千トンとなっており、夏季の好天に

も拘らず、上半期の水使用量は前年度に比べ七千トン、率にして二%弱の伸びという、横這い状況となりました。

しかし、夷隅開発B地区内の分譲も順調に推移し、近い将来、町営水道創設時の計画使用水量達成も期待できる明るい兆しが見えてきました。

一方、今後の都市化の進展やリゾート法による地域開発計画の進行などにより、水需要の大幅な伸びも見込まれて

おり、将来的には夏の水不足対策を考慮しなければなりません。

こうしたことから、新規水源確保と将来の水需要に対処しようとして、八月一日、夷隅・安房地区の十七市町村が共同で「南房総広域水道企業団」を設立。房総導水路（長柄ダム）を水源とした用水供給事業を行うべく、平成三年度から工事着手。平成七年度一部通水をめざし準備を進めてい

## 発 合理的な土地利用と

### 環境保全のため

### 開 都市計画導入を検討

昭和六十二年のリゾート法成立により千葉県は、リゾート地域整備構想を発表し、御宿・大原地域を「海浜スポーツリゾート」の重点整備地区に指定しました。

地域開発の一つであるリゾート開発計画は、町の今後のありかたを決める重要な事業であり、中・長期的な開発整備

の基本方向を定め、自然と歴史と文化を大切に、地域住民の福祉を求めていくものです。

観光を町の主要産業とし、町全体の美的感覚をもった土地利用やデザインのあり方などを検討し、観光の町にふさわしい景観形成に努めます。

当町は昭和五十六年に国土利用計画法に基づく「都市地

#### 〈建設改良工事の概況〉

（元年度決算数値）

- 布施・高山田地区配水管布設工事
  - φ 50 〓 200 延長1,596 m
  - φ 50 〓 100 延長1,850 m
  - φ 50 〓 150 延長4,150 m
  - φ 50 〓 75 延長1,753 m
- 天の守ポンプ場・末端残塩素計装置設備
- 夷隅B地区水道工事・配水池・ポンプ室

域」に編入されており、今年度より都市計画導入についての基礎調査とマスタープランの作成に着手しました。

今後は、この調査をもとに「マリニリゾート御宿」にふさわしい合理的な土地利用と環境保全を目的とした都市計画区域の編入について協議していきます。

これらに併行して、広域消防体制の整備、南房総広域水道企業団の発足、さらにはJR外房線複線化の促進など、市町村の枠を超えた広域的な事業にも取り組んでいます。



# 建設

## 住みよい地域づくり

### 道路網整備に全力

平成二年五月、三か年継続事業で建設を進めてきた町道一一六五号線の開通式が行われました。

この道路は、産業振興や交通安全対策に加え、月の沙漠記念館と調和した小公園的な機能をもたせてあります。



歩行者の安全確保のため歩道整備も



新しい海岸道路「月の沙漠通り」

愛称は「月の沙漠通り」——美しい海岸が一望できるため、観光客はもちろん、地元の方々にも親しまれています。

このほか、舗装修繕六路線、歩道整備一路線ほか、二十二路線も完成しました。生活関連道路網の整備は、住民の日常生活を支え、住みよい地域社会を形成するための基本的な投資です。

#### 地権者の協力求め 道路の新設・改良急ぐ

平成三年度は、完成した月の沙漠通りに続く、地曳橋から砂丘橋までの清水川沿いの

歩道整備事業の早期完成をめざします。この歩道整備は、夏の交通混雑から歩行者を守り、景観と調和のとれた快適な環境を演出しようとするものです。

#### 生活関連道は 各地区の要望にそって

また、道路改良については、岩和田地先から大原町小池地先に通じる未改良道路をリゾー卜関連道路として地権者のご協力を得ながら用地取得を継続事業を進めていきます。この道路も交通渋滞の緩和策として、積極的に取り組みます。

幹線道路の一、二級町道については、西林寺地先の災害防除や須賀・部田地先、新町朝市通りなどの舗装修繕。さらに生活関連道路は、町三か年計画と各地区の要望にそって、緊急度の高い所から逐次整備を進めます。

十四年の歳月をかけて橋梁五基の整備や護岸工事を進めてきた裾無川改修は、平成三年度に幸保池下流までの整備を行い、完了する予定です。県の担当する事業については、大原町山田地区から実谷地先までの新路線が、県道勝浦布施大原線バイパス道路となり、地元への概要説明会を終え、用地買収に入ることになりました。

また、急傾斜地の土砂災害防止は、岩和田・船谷地区で継続実施されます。このほか国、県道の未整備箇所については、引き続き県へ要望していきます。

なお、平成二年九月三十日発生台風20号による災害復旧は、国、県との連携をもとに全力で取り組みます。

# 農 業

## 消費の動向に

### 対応した米づくり

#### 農業公社牧場事業も進む

農産物の市場開放圧力、輸入量の急増、価格の低迷、特に米の市場開放が問題となっています。

水田農業は国土、自然環境の保全また、町農業の基幹となっています。米の消費の動向は、本年十



果樹や花栽培に取り組む農家も(“いすみの柿”の収穫)

月より導入された自主流通米の入札結果で見られたように食味のよい米は政府売渡し価格よりはるかに高い値で取り引きされ産地間の価格差があります。

このようなことから町としては稲作を軸に効率的な農業経営を育成するとともに味が良く品質の良い米づくりを推進するために、防除の徹底や味のよい米であるコシヒカリ、初星、はなの舞の作付を多くし消費の動向に対応します。

畜産業は農業公社牧場事業により畜舎の整備や草地造成事業が実施され平成二年度で

完了します。これにより今後は安定した経営が期待されます。林業の基盤である林道については、生活関連道路として利用される向井線の舗装が実施されました。平成三年度で全線が舗装されます。

今後の計画としては林道網の充実を図るため、七本地先の山ノ田線の調査、測量を平成三年度に計画しています。

# 漁 業

## 磯根造成や資源確保など

### 豊かな漁場づくりを推進

水産業の基本施設である漁港や冷蔵庫、活魚槽、市場等は概ね整備が進んでいます。

このようななかで、平成二年度は岩和田漁港の西防波堤の改良及び停泊地の浚渫を実施しています。漁港整備事業は

国庫補助事業を積極的に取り入れ逐次整備する計画です。

#### 稚貝放流などを

#### さらに充実

漁業生産は豊かな磯根資源

が存在するなかで、限られた資源によりいかに計画的な生産が出来るかを追求していかなくてはなりません。

これには継続的に実施しているアワビ、サザエの稚貝放流を更に充実させ効果的なものとしていかなければなりません。特に漁場を知りそれにあつた施策を講じていく必要があります。このようなことから漁場の観察、追跡調査を実施し、磯根漁場の造成や資源確保等の管理型漁業を推進します。





# 光 観

## マリナー・リゾートの

### 基盤整備進む

房総時代の幕開けにふさわしい、房総リゾートの創造がいま開始されつつあります。ふりそそぐ太陽のもとで、きらめく海と小麦色の砂浜、豊かな緑に包まれた、さわやかな自然環境が舞台です。

首都圏住民の週末滞在を中心に、活動的なマリンスポーツ、家族連れのレクリエーション、さまざまな研修や保養、人や情報の国際的な交流など、御宿の最大の財産である海を

中心としたリゾート地づくりのため、自然と産業が調和した新しい地域づくりに積極的に取り組んでいきます。

### マリナー・リゾート

### 御宿の整備目標

○積極的な快適空間、環境整備をめざします。

景観や眺望を重視した快適な環境づくりや統一感のある施設デザインの導入に

努めます。

都市生活機能の充実をめ

ざし、既存の施設の再整備を行い、サイン整備、植栽公衆便所、遊歩道、親水公園などを整備します。

○住民の積極的な参画による産業おこしや地域づくりをめ

ざします。

農漁業、観光産業との連携を深め、ふるさと産品や

郷土料理、伝統工芸などの発掘活用を推進します。

○新しい地域イメージの創出と文化の育成をめざします。

七月にオープンし、好評を博している「月の沙漠記念館」も、さらに展示工夫をこらし、優れた芸術と触れあう機会を提供するとともに、海洋スポーツの可能性、また、既存のパンフレッ

ト、ポスターなどを見直し、新しい御宿のイメージを積極的にPRしていきます。

○モデル海水浴場の実現に努めます。

新しい御宿のイメージづくりのため、現在の海水浴場の形態を刷新し、国際的に通用する、より安全で快適な海水浴場の整備を推進します。

## 商店の近代化進む一方で

### 卸売業の減少目立つ

### 望まれるリゾート関連企業誘致

ての活用を期待すると共に、消費者のニーズに応えられる都会的センスを有する商店街づくりや植栽事業、遊歩道の整備等を図り、環境づくりに努めていきます。

## 商 工 業

### 《商業》

マリナー・リゾート御宿の開発計画と共に、町商店街も近代的な店舗へと新築、改築が進められています。

しかし、商業の現状を見ますと、かなり厳しいものがあります。昭和六十三年の商業

統計によると、商店数百五十四店、従業員数五百七十八人、年間商品販売額六十億七千六百万円、売場面積六千八百四

方メートルとなっています。

これを前回の調査（昭和六十年）と比較すると、商店数で十店減、従業員数で八十六人減、商品販売額で八億七千五百万円減、売場面積で三十三平方メートル増となります。

小売業は前回並ですが、卸売業の減少が目立ちます。

商店振興対策としては、新しい商工会館の建設により、近代的商店経営指導の場とし

### 《工業》

昭和六十三年の工業統計によると、従業員四人以上の工場数が三十一、従業員数三百九十人、製品出荷額十二億七千七百万円です。前年調査と比較すると、工場数で七、製品出荷額で三億九千六百万円、それぞれ減少しています。

当町の工場は、殆どが従業員二十九人以下であり、毎年人口の流出が続くなかで、リゾート開発に伴い優良企業の誘致などが望まれます。

## 町の活性化に "月の沙漠"などを 商標登録出願



月の海岸「月の沙漠」「costa de la Luna」「渚の火祭り」を商標登録の出願をしました。

この商標登録は、御宿町のイメージ確保とPRを図り、ふるさと産品づくりに活用。町の活性化に役立てるもの。

商標登録決定までに二年ぐらいかかります。町を代表する商品開発に皆さんのアイデアを期待します。

# 環境行政

ゴミ・水・花・緑

## いまある環境を見直し きれいな街づくりを

### 夏のゴミ対策に 新たな試み

〈平成二年度事業〉

「きれいな街づくり」のた

め、今年実施してきました主要事業について簡単にふりかえってみたいと思います。

まず、じん芥処理対策です。粗大ゴミ収集は、昨年同様、



子どもたちもリサイクル運動に取り組む

春と秋の二回実施しましたが、回収量は百四十五トンと昨年に比べほぼ二割減少しました。

夏のゴミ処理については、海岸での三分間清掃タイムの実施や飲食禁止ゾーンの設定など、新しい試みを行いました。これは皆さまのご協力により、ほぼ成功であったと思っています。

六月三日に県内全域で実施された「ゴミゼロ運動」は、日頃ご協力をいただいている町民清掃の成果もあり、参加率で県内市町村のトップという成績をおさめました。これは、どこの町よりも、きれいな街にという町民の皆さまの熱意のあらわれだと思えます。

### 小型合併浄化槽の 設置補助など開始

次に「水をきれいにする運動」ですが、小型合併処理浄化槽を各家庭に設置促進することを中心に行ってきました。十一月末現在で既に十基の浄化槽が設置され、年度内にはさらに八基設置される予定です。

また、花いっぱい運動については、老人クラブ連合会、

商工会青年部、月見草を咲かせる会など各関係団体の実践活動をはじめ、新しく「花と緑の街づくり推進会議」を設置し、委員による会議を重ね「花と緑の街づくり計画」を策定中です。

このほか、ゆとりある街並形成のため、緑の生垣設置促進を町の補助事業として始めています。

### 徹底したクリーン作戦

#### ゴミの再資源化も

〈平成三年度の目標〉

平成三年度の目標としてはまず、当面の課題である夏のゴミ処理対策です。

特に海岸ゴミについては、今年実施した「三分間清掃タイム」と「飲食禁止ゾーン」の設定を研究強化し、徹底化を図ります。

海岸周辺地域の散乱ゴミについては、処理体制を区域分担制とし、清掃体制の整備に力を入れていきたいと考えています。この清掃区域の分担は、清掃員の担当区域を決め責任を持って、きれいにしようとするもの。

区域分担制は、清掃員の補充すなわち費用の増加につながりますが、その可能性を追求していきたいと考えます。

また、「きれいな街おんじゅく」のイメージを積極的に打ち出すため、「クリーンゴミ袋」を作成し、宿泊客や海岸での「清掃タイム」時に配布し、施策の徹底を図ります。

粗大ゴミ収集については、継続して実施しますが、新たに、年二回程度の「資源ゴミの日」を設定し、古紙回収などの資源リサイクルにも前向きに取り組んでいきます。

### 清水川浄化へ

#### 町民の英知を

「水をきれいにする運動」については、次年度も小型合併処理浄化槽設置事業の普及促進を図ると共に、新しく清水川浄化対策協議会（仮称）を設置し、水質浄化を多面的に検討し、多くの皆さんの英知を結集していきたいと思えます。

水環境の改善については、公共下水道の建設が、最善の施策として考えられますが、事業実施には、多額な費用が

必要ですので、当面は財政事情を勘案しつつ、改善策を進めていきます。

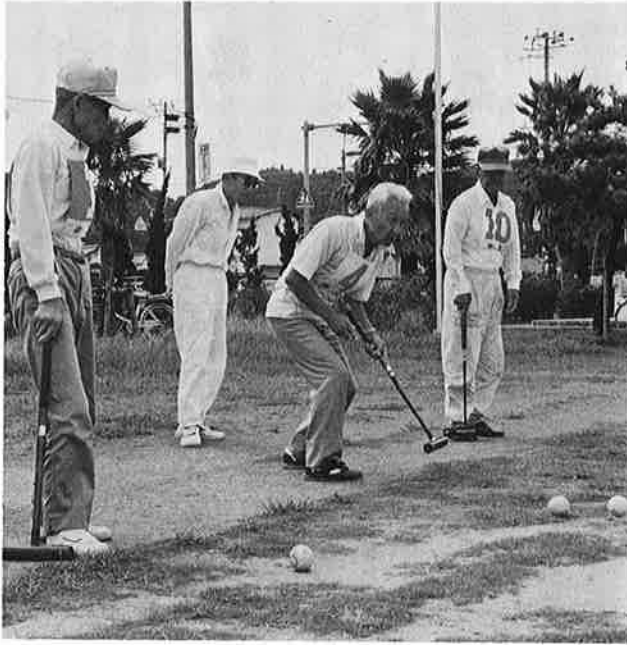
花いっぱい運動については、各団体のご協力を得ながら、「花と緑の街づくり推進会議」を中心に、自然と産業が調和したリゾート御宿にふさわしい花を再考。気候、風土を踏まえ、四季を通じて全地域を花でうずめる「フラワーツフト計画」を作成していく考えです。

このほか、環境面の総合的課題として、清水川周辺に関

する「ウォーターフロント計画」をさらに詰めていきます。

これは、町の中心部を流れる清水川を、貴重な資源として捉えなおし、水質浄化と合わせて、周辺をゆとりある生活空間とするため親水公園の設置を検討していくものです。

このように、現在の環境を一つひとつ点検し、捉えなおし、デザインしながら、新しい環境の創造に向けて、確実に前進していきます。皆さまのご協力を切にお願いいたします。



日頃から心がけたい健康づくり

## 国民健康保険

### 増え続く医療費で

### 厳しい国保財政

わが国には「健康保険」という制度があります。この制度は、ふだんから、それぞれの収入に応じてお金を出し合

い、病気やケガにあったときの医療費にあてようという相互扶助を目的として運営されています。

ところが、毎年医療費が増え続け、国保財政は厳しい状況になりつつあります。

### 医療費が増えれば 保険税も上がる

国民健康保険では、医療費の三〇％を医療機関の窓口で支払い、残りの七〇％は、町で負担しています。

この七〇％の内訳は、国、県からの補助金と、皆さんの納める保険税です。ですから、医療費が増えれば増えるほど

保険税も高くなっていきます。

### 高齢化や医療技術の 進歩などで医療費上昇

それでは、なぜ医療費が増え続けるのか、その原因と考えられるものを上げてみます

と、

- ①高齢化社会によるもの：病

- ②成人病患者の増加：食生活の向上、運動不足などで高血圧をはじめとする慢性疾患が増えています。

- ③医学の進歩：高度な医療技術、制がん剤など、高価な薬が開発され、一件当たりの医療費が高くなってきています。

- ④医療機関へのかかり方：病院を転々とすると一貫した治療が受けにくく、回復を

遅らせ、結果として医療費を引き上げています。

### 保険税抑制にもなる

### 早期発見・早期治療

「医療費は節約しようにも節約できない」「病気になるれば医者にかかるだけ」「自分にはどうすることもできない」

確かにそれも言えます。しかし、皆さんのちょっとした努力や工夫で、医療費は節約でき、保険税の軽減を図ることが可能です。

まず、町などが実施する各種検診をご利用ください。そして、早期発見、早期治療に努め、病院にかかる時は、転転とするのではなく、病気の経過のわかる「主治医」的な病院、医者を持つことです。

医療費は、なぜ増える——この点をご理解いただき、限られた財源の中で、適切な使い方をしたほうが、皆さん一人ひとりのプラスになるのではないのでしょうか。

### 「健康」それは

### 永遠の願い明日の力

# 教 育

## “生涯学習の時代”迎え

### 多様なニーズに対応

#### 高まる

#### 公民館の役割

#### 〈社会教育〉

平成二年七月に、「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」が施行され、国、地方を問わず「生涯学習の時代」を迎えました。情報化、国際化の進展、自

由時間の増大などの社会的背景から、生涯学習へのニーズは、ますます多様化、高度化しています。

このような情勢の中にあつて公民館は、地域の人々の身近な、学習、文化活動の場としての中核的な役割を担っています。

現在、国際交流時代に対応したスペイン語教室をはじめ



町の特性いかした教育を実践

とする三十四の教室、クラブなどが行われており、その活動は年々充実し、利用団体も増加傾向にあります。

今後は、公民館の利用促進を図る具体的な方策として、次の目標を掲げ、公民館を通じて、それぞれの立場で社会参加ができるようにと考えています。

○地域の皆さんが使い易い公民館運営をめざします。

○事業への参加者の定着化と新しく参加する層の拡大に心がけます。

○参加者の要求に対応する専門コース、上級コース、初心者コースなどの設置を図り、自主学习グループ化を進める援助をします。

○地域の高齢者、ボランティア等の人材発掘と活用を図ります。

○広報活動を活発にし、住民に周知します。

○地域住民の交流、集会の機会と気軽に参加できる雰囲気を持った場の拡充を図ります。

#### 町の特性いかした

#### 児童・生徒の育成

#### 〈学校教育〉

御宿町の教育は、教育現場や父母と一体となり、町の特性をいかした人間性豊かな児童、生徒の育成に努めています。

平成二年度は、各種教育機器、備品の整備をはじめ、教育施設の改善を図りました。

特に、御宿小学校体育館屋根の防水工事、健康な児童

を目指して進めている「はだしの教育」の為の足洗場設置

工事、平成四年度から実施されます生活科の為の施設整備

また岩和田小学校では、グラウンド周囲ブロック積工事。御宿中学校では、校内放送設備

改修工事、自転車置場設置工事や校舎外壁補修工事などの教育環境の整備を図りました。

# 消 防

## 地域防災体制さらに充実

### 広域常備消防がスタート

本町の消防団は一本部、八分団、二百五十五名の消防団員で構成され、住民生活の安全を守るため、月二回の試運転や各種訓練、海岸警備、歳末夜警、花火大会警備など日夜尽力しています。

域常備消防が発足し、防災体制及び、救急業務体制の確立が図られています。今後、地域防災の要として消防団に対する期待は大きく、防火水槽や消火栓等の消防施設の整備充実を進めていきます。

#### 〈消火栓〉

残念なことに平成二年度は、十一月末現在で四件の火災が発生しておりますが、町民の皆さんのご協力もあり被害を最少限に食い止めています。また、四月より夷隅郡市広

平成二年十二月末現在の消火栓の設置場所は資料編P27に掲載。日頃から、自宅近くの消火栓の場所を知っておくことも大切です。

# 社会福祉

## 地域に根ざした

## 福祉施策を展開

## 福祉センター建設に着手

超高齢化社会を迎えようと  
している現在、地域住民の福  
祉に対する需要は、社会経済  
の傾向にあります。

情勢の変化や核家族化の進行  
などに伴い、増大かつ多様化  
の傾向にあります。



12月15日に行われた地域福祉センター起工式

こうしたことから、福祉行政は、住民一人ひとりを取りまく「福祉の環境整備」を念頭に取り組む必要があります。

そこで町では、平成二年度から、地域福祉センターの建設に着手。お年寄りをはじめとする町民だれもが、気軽に利用できる施設を建設します。お年寄りの持つ知恵と技術を発揮できる作業室なども備

え、高齢化社会における地域づくり、生きがいづくりを助長する拠点と考えています。

また、町社会福祉協議会との連携による「地域ぐるみ福祉」ネットワーク事業も、学校や地域での理解を得て、充実してきました。今後も公私協働しながら、多様化するニーズに対処していきます。

年寄りのご家庭へ「緊急通報装置」の設置、身障者や寝たきりの方々の社会参加を進める「福祉カー」の貸出制度も定着しつつあり、従来から実施している「入浴・ふとん乾燥サービス」やホームヘルパー派遣などと合わせ、きめ細かな「福祉環境」を整備していきます。

## 健

## 健康づくりの

## 主役は自分自身

## 保

## 生活習慣を見直そう

成人病とは、高血圧・がん・脳卒中などの総称で、いずれも慢性化し、徐々に病気が進行するものです。

どの病気にもかかりやすい体質がありますが、主に若いときからの生活習慣が大きく関係していることから、「習慣病」とも呼ばれています。

この成人病を予防するには一次予防と二次予防の両方が大切です。一次予防とは、病気を発病させるような生活習慣

慣を改めることで、二次予防とは、健康診断等で病気を早く発見し、適切な治療を受けることです。

このように成人病の予防は日常生活に対する心がけや、定期的な健康診断等あくまでも自分自身が主役です。

健康は豊かな人生には欠くことのできないものです。人生八十年時代を迎え、八十年をより有効に生きるために、もっと健康について考える必



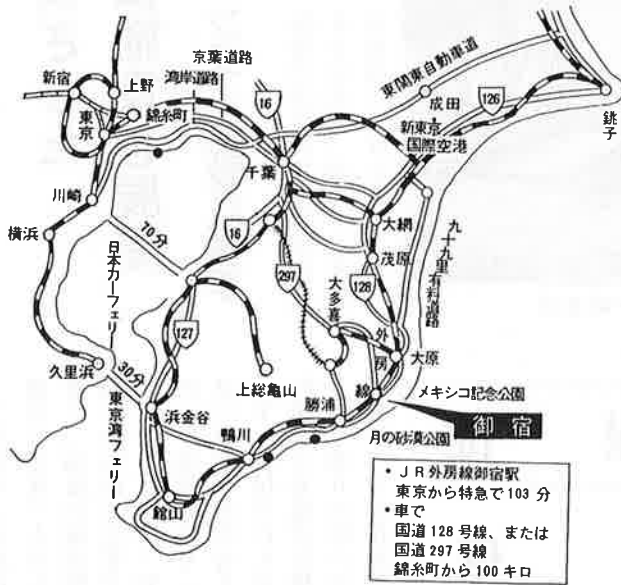
基本健康診査

要があるのではないでしょう

か。  
町では、みなさんの健康づくりのお手伝いとして、各種健康診断や健康相談を無料で実施しています。積極的に利用して、自分自身の健康管理にお役立てください。

# 数字でみる

## おんじゅくのすがた

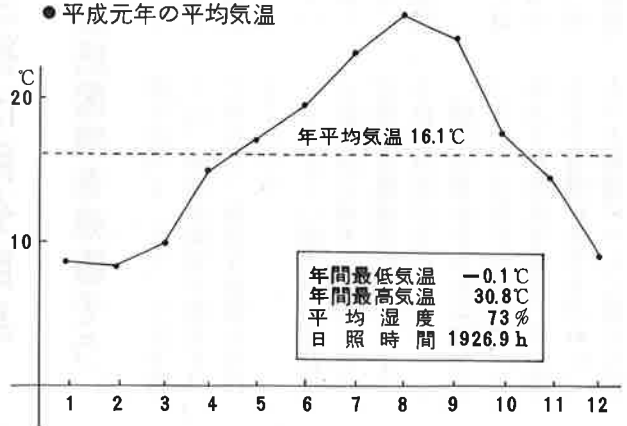


- 沿革……明治22年町村制の施行により、御宿郷の須賀村、浜村、高山田村、久保村の4部落がまとまり、御宿村ができた。  
その後、大正3年御宿町と改称。昭和30年町村合併で布施村の一部と浪花村岩和田地区を合併して現在の御宿町となった。
- 位置……御宿町は千葉県の東南部、房総半島中央部東端に位置し、首都東京から75kmの南東方向。  
東経140度21分23秒。北緯35度11分2秒の地点にある。
- 面積……25.05 km<sup>2</sup>

### ●年別気温・降雨量

年	平均	最高	最低	降雨量
30	16.6℃	34.1℃	-4.4℃	2220.3mm
40	14.9	31.6	-4.8	1639.5
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
60	15.3	31.3	-3.2	1799.0
61	14.8	32.8	-3.2	1966.0
62	15.6	30.9	-3.6	1873.5
63	15.2	31.0	-3.9	2203.5
平成元	16.1	30.8	-0.1	2377.5

### ●平成元年の平均気温



### ●元年の月別気温・降雨量

区分 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温	8.6	8.0	9.8	14.9	17.2	19.6	23.1	25.9	24.2	17.6	14.8	9.0℃
最高	19.5	16.9	19.4	21.4	24.4	27.0	29.9	30.8	29.8	24.6	23.8	19.2℃
最低	0.3	-0.1	1.5	6.6	10.3	12.6	16.5	21.6	17.8	10.0	4.7	2.1℃
降雨量	122.0	187.0	181.5	169.5	219.0	391.5	155.5	277.0	147.5	408.5	86.5	32.0mm



●行政区別世帯数と人口

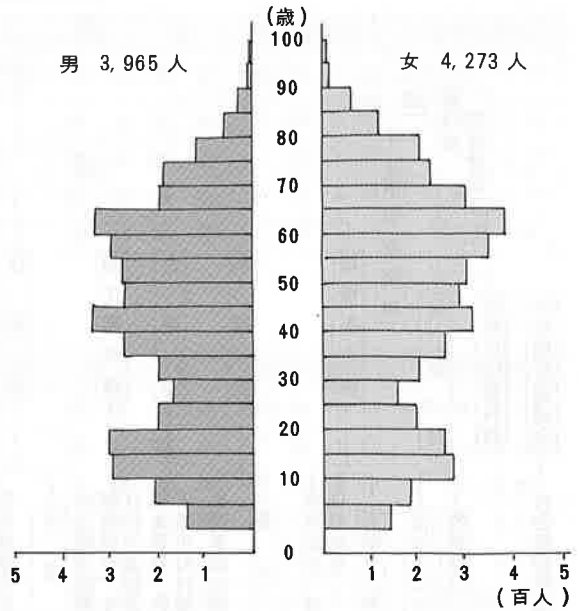
(2.10.1)

区 分	世帯数	人 口		
		男	女	計
須賀	320	432	469	901
浜	264	394	467	861
高山田	82	145	156	301
久保	347	554	621	1,175
新町	427	592	676	1,268
六軒町	241	338	367	705
岩和田	431	675	751	1,426
実谷・七本	128	235	257	492
上布施	199	371	382	753
御宿台	28	27	30	57
合 計	2,469	3,763	4,176	7,939

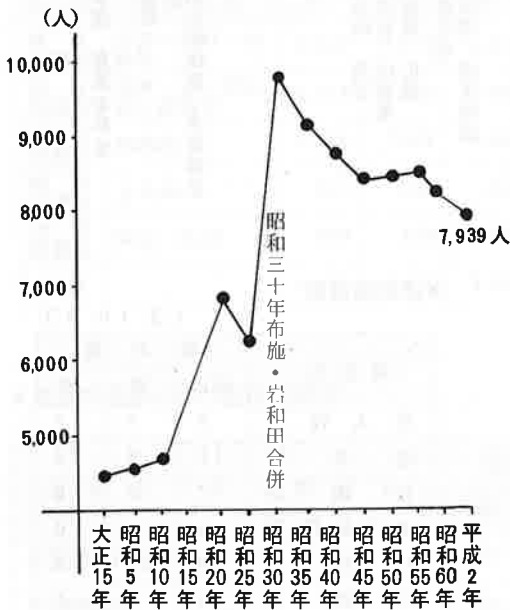
(国勢調査)(単位:人)

●5歳階級別人口(平成2年4月1日現在)

—住民基本台帳から—



●人口の動き(国勢調査)



●人口の推移(国勢調査)

年次	世帯数	人 口			1世帯平均人員	人口密度人/km <sup>2</sup>
		総数	男	女		
大正15	982	4,408	2,122	2,286	4.5	448
昭和5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	330
平成2	2,469	7,939	3,763	4,176	3.2	317

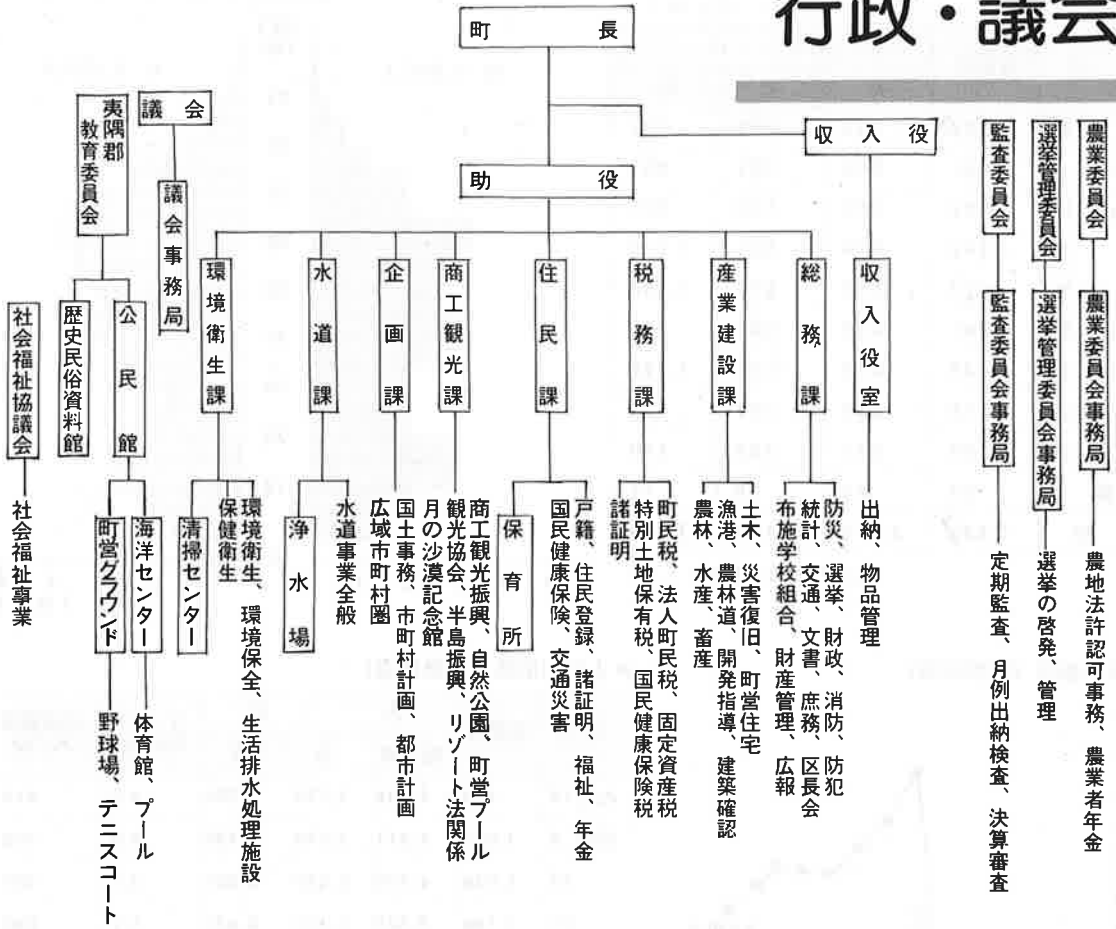
●人口動態

年度	自然動態						社会動態		
	出生	死亡	自然増減 出生・死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会増減
昭和30	184	74	110	19	68	9	484	784	△300
40	132	91	41	19	254	9	221	353	△132
50	114	94	20	9	208	13	322	379	△57
60	76	88	△12	4	45	8	319	351	△32
平成元	51	87	△36	5	23	2	289	272	17

自然  
人口

●行政組織の状況

# 行政・議会



●議 会

- 議員定数 16人 (法定数22人)
- 常任委員会数 3
  - 総務常任委員会 (6)
  - 産業建設常任委員会 (5)
  - 教育民生常任委員会 (5) ( )内委員数

●課別職員数

( 2 1 0 1 )

課室名	職員数		
	総数	男	女
収入役室	2	1	1
総務課	11	8	3
企画課	2	2	0
産業建設課	9	9	0
住民課	10	5	5
税務課	7	6	1
商工観光課	4	4	0
水道課	6	5	1
環境衛生課	13	11	2
農業委員会	1	1	0
議会事務局	2	2	0
公民館	5	4	1
保育所	18	0	18
社会福祉協議会	1	1	0
合 計	91	59	32

●議会の開催状況

区分 年次	定例会				臨時会				請願 陳情 件数
	回数	会期	町長提出 議案	議員提出 議案	回数	会期	町長提出 議案	議員提出 議案	
59	4	11	46	5	3	3	5	1	5
60	4	12	40	6	4	4	2	2	3
61	4	10	46	6	2	2	4	1	3
62	4	14	35	12	4	4	9	7	6
63	4	10	49	6	2	2	4	0	4
元	4	11	42	2	6	6	9	3	4

● 歴代議長（町村合併後）

氏名	就任年月日	退任年月日
吉野 要	昭和 30. 3. 31	昭和 32. 9. 30
浅野 航海	" 32. 10. 1	" 34. 9. 30
新井 清治	" 34. 10. 1	" 40. 9. 30
関 龍雄	" 40. 10. 1	" 44. 9. 30
中村 喜一	" 44. 10. 11	" 48. 10. 31
江沢 富士松	" 48. 12. 4	" 50. 9. 30
岩崎 栄一郎	" 50. 10. 1	" 54. 9. 30
石田 行雄	" 54. 10. 1	" 56. 9. 30
井上 泰爾	" 56. 10. 1	" 58. 9. 30
井上 浩一	" 58. 10. 1	" 60. 3. 12
白鳥 時雄	" 60. 4. 16	" 62. 9. 30
関野 正治	" 62. 10. 1	平成 元. 9. 21
佐藤 高二	平成 元. 9. 21	在任中

● 歴代町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
(町長職務執行者)	大地 重直	昭和 30. 3. 31	昭和 30. 5. 15
1	井上文吉	" 30. 5. 16	" 42. 5. 14
2	岩井敏夫	" 42. 5. 15	" 54. 5. 14
3	高梨秀治	" 54. 5. 15	" 62. 5. 14
4	滝口栄蔵	" 62. 5. 15	在任中

● 歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原 誠三郎	昭和 30. 10. 18	昭和 38. 10. 17
2	岩井敏夫	" 39. 1. 10	" 42. 4. 17
3	佐藤清司	" 42. 12. 20	" 45. 10. 31
4	浅野 興典	" 47. 4. 1	" 54. 5. 14
5	池田 覚道	" 55. 3. 1	" 62. 5. 14
6	大谷良司	" 62. 6. 15	在任中

● 投票区別有権者数

(2年9月現在)

区分	投票区域	計	男	女
第1投票区	久保・新町・六軒町	2,548	1,172	1,376
第2投票区	須賀・浜・高山田・御宿台	1,714	805	909
第3投票区	岩和田	1,228	587	641
第4投票区	上布施	576	266	310
第5投票区	実谷・七本	393	188	205
総数		6,459	3,018	3,441

● 歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原 誠三郎	昭和 29. 2. 13	昭和 30. 10. 17
2	佐藤清司	" 30. 10. 18	" 42. 12. 19
3	浅野 興典	" 42. 12. 20	" 47. 3. 31
4	和田 正美	" 47. 4. 1	" 54. 5. 14
5	岩瀬 剛	" 54. 7. 1	" 62. 5. 14
6	吉田 庸二	" 62. 6. 15	在任中

● 最近の選挙における投票状況

選挙名	施行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
衆議院議員選挙	S 6 1. 7. 6	6,374	3,001	3,373	4,899	2,240	2,659	76.86	74.64	78.83
参議院議員 "	S 6 1. 7. 6	6,374	3,001	3,373	4,849	2,222	2,627	76.07	74.04	77.88
県議会議員 "	S 6 2. 4. 1 2	6,343	2,970	3,373	3,692	1,683	2,009	58.21	56.67	59.56
町長 "	S 6 2. 4. 2 6	6,359	2,981	3,378	6,019	2,790	3,229	94.65	93.59	95.59
町議会議員 "	S 6 2. 9. 2 0	6,398	3,011	3,387	6,004	2,789	3,215	93.84	92.63	94.92
県知事 "	H 元. 3. 1 9	6,318	2,960	3,358	4,075	1,853	2,222	64.50	62.60	66.17
参議院議員 "	H 元. 7. 2 3	6,382	2,982	3,400	3,839	1,810	2,029	60.15	60.70	59.68
衆議員議員 "	H 2. 2. 1 8	6,397	2,994	3,403	5,360	2,460	2,900	83.79	82.16	85.22

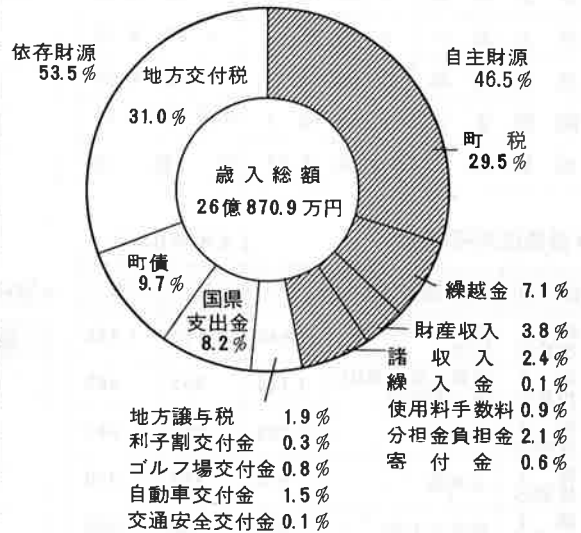
# 財政

## ●平成元年度一般会計歳入歳出決算

歳入 (単位 千円)

科目	平成元年度	昭和63年度	比較		前年度増減率
	決算額①	決算額②	①-②③	③/②④	
1.町 税	769,256	649,178	120,078	18.5%	1.0%
2.地方譲与税	50,343	27,316	23,027	84.3%	△4.8%
3.利子割交付金	8,638	3,585	5,053	140.9%	—
4.ゴルフ場交付金	21,089	19,658	1,431	7.3%	1.0%
5.自動車交付金	39,656	38,748	908	2.3%	19.7%
6.地方交付税	809,599	666,283	143,316	21.5%	24.6%
内 普 通	732,119	599,834	132,285	22.1%	26.5%
駅 特 別	77,480	66,449	11,031	16.6%	9.9%
7.交通安全特別金 対策交付金	1,767	1,870	△103	△5.5%	△17.7%
8.分担金・負担金	54,933	58,385	△3,452	△5.9%	9.9%
9.使用料	7,269	7,508	△239	△3.2%	3.4%
10.手数料	14,218	11,248	2,970	26.4%	16.1%
11.国庫支出金	136,744	129,781	6,963	5.4%	2.6%
12.県支出金	74,822	196,792	△121,970	△62.0%	31.7%
13.財産収入	100,166	160,127	△59,961	△37.4%	64.9%
14.寄 附 金	15,407	1,842	13,565	736.4%	—
15.繰 入 金	3,564	4,175	△ 611	△14.6%	△59.8%
16.繰 越 金	185,303	168,468	16,835	10.0%	32.0%
17.諸 収 入	61,935	27,716	34,219	123.5%	△56.0%
18.町 債	254,000	169,600	84,400	49.8%	51.3%
合 計	2,608,709	2,342,280	266,429	11.4%	16.1%

## ●平成元年度一般会計歳入決算財源別構成比







## ●町税負担状況の推移

区分	町税総額 千円	一世帯当り 負担額 円	一人当り 負担額 円
30	13,618	6,753	1,396
35	15,166	7,408	1,635
40	27,435	13,266	3,112
45	57,725	26,962	6,892
50	187,905	83,886	21,920
55	398,434	165,218	45,823
60	613,882	246,242	72,537
平成元	769,256	298,161	93,379

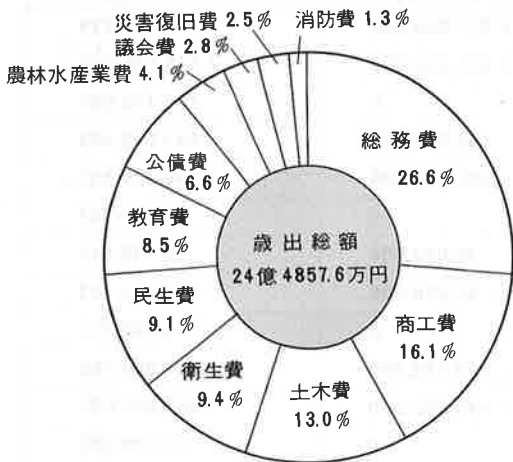
## ●平成元年度住民負担の状況

町民1人当たり・円

町 民 税 	34,794 円	たばこ消費税 	5,021 円
固定資産税 	42,304 円	入 湯 税 	39 円
軽自動車税 	726 円	特別土地保有税 	9,526 円

(滞納繰越金、国などから交付される固定資産税を除く)

●平成元年度一般会計目的別歳出決算構成比

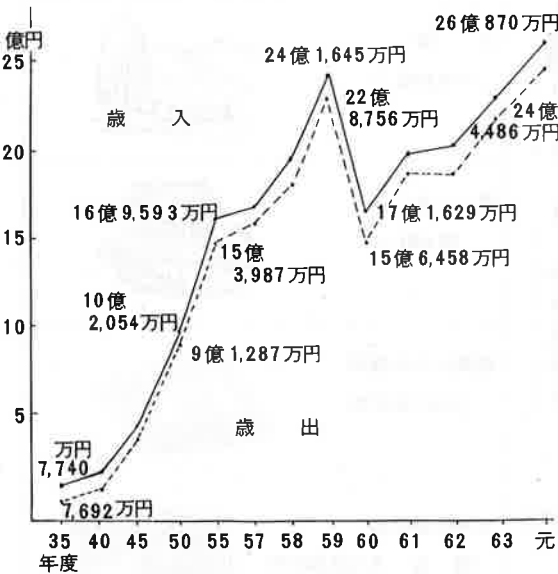


●平成元年度一般会計決算  
〔目的別歳出〕

(単位 千円)

科目	年度		比較	
	平成元年 決算額①	昭和63年 決算額②	①-②③	③/②
1.議会費	67,456	64,527	2,929	4.5%
2.総務費	652,629	503,268	149,361	29.7
3.民生費	223,533	211,476	12,057	5.7
4.衛生費	230,829	289,577	△58,748	△20.3
5.農林水産業費	99,356	191,422	△92,066	△48.1
6.商工費	393,451	208,335	185,116	88.9
7.土木費	318,544	245,431	73,113	29.8
8.消防費	30,724	44,547	△13,823	△31.0
9.教育費	207,948	203,214	4,734	2.3
10.災害復旧費	62,099	42,243	19,856	47.0
11.公債費	161,997	152,937	9,060	5.9
合計	2,448,566	2,156,977	291,589	13.5

●一般会計決算額の推移



〔性質別歳出〕

(単位 千円)

科目	年度		比較	
	平成元年 決算額①	昭和63年 決算額②	①-②③	③/②
1.消費的経費	1,329,986	1,160,337	169,649	14.6%
(1)人件費	546,869	530,716	16,153	3.0
(2)物件費	287,195	272,945	14,250	5.2
(3)維持補修費	4,276	5,000	△724	△14.5
(4)扶助費	12,284	9,997	2,287	22.9
(5)補助費等	302,379	259,197	43,182	16.7
(6)その他(積立金等)	176,983	82,482	94,501	114.6
2.投資的経費	916,362	793,813	122,549	15.4
(1)普通建設事業	854,263	751,570	102,693	13.7
(2)災害復旧事業	62,099	42,243	19,856	4.7
3.公債費	161,925	152,820	9,105	6.0
4.繰出金	40,293	50,007	△9,714	△19.4
合計	2,448,566	2,156,977	291,589	13.5

●財政の変遷〔普通会計〕

(千円)

年度	当初予算額	決算			基準財政 需要額	基準財政 収入額	地方 交付税額	財政力 指数
		歳入	歳出	差引残高				
58	1,563,647	2,017,822	1,905,899	111,923	831,696	420,031	465,848	0.487
59	2,450,909	2,436,408	2,300,864	135,544	894,053	441,501	500,694	0.491
60	1,344,447	1,736,930	1,579,733	157,197	954,976	523,785	484,363	0.512
61	1,632,489	2,003,240	1,870,721	132,519	981,921	517,409	518,741	0.523
62	1,658,484	2,016,872	1,848,403	168,469	1,009,665	535,396	534,717	0.535
63	1,936,740	2,342,280	2,156,977	185,303	1,140,993	541,159	666,283	0.510
平成元	2,217,000	2,608,709	2,448,566	160,143	1,336,938	608,431	809,599	0.486

●平成元年度会計別決算

(円)

会計別	区分	予算額	決算額
一般会計	歳入	2,217,000,000	2,608,708,744
	歳出	2,217,000,000	2,448,565,740
	差引残額	0	160,143,004
国民健康保険特別会計	歳入	496,583,000	547,808,692
	歳出	496,583,000	476,676,555
	差引残額	0	71,132,137
プール特別会計	歳入	16,016,000	19,379,812
	歳出	16,016,000	14,114,301
	差引残額	0	5,265,511
老人保健特別会計	歳入	449,462,000	484,856,282
	歳出	449,462,000	461,837,697
	差引残額	0	23,018,585
総合計	歳入	3,179,061,000	3,660,753,530
	歳出	3,179,061,000	3,401,194,293
	差引残額	0	259,559,237

●水道事業会計決算 -平成元年度-

・収益の収入及び支出  
(収入)

(円)

区分	予算額	決算額	予算額に対する増減
水道事業収益	169,025,000	184,963,770	15,938,770
営業収益	112,542,000	126,995,005	14,453,005
営業外収益	56,483,000	57,968,765	1,485,765

(支出)

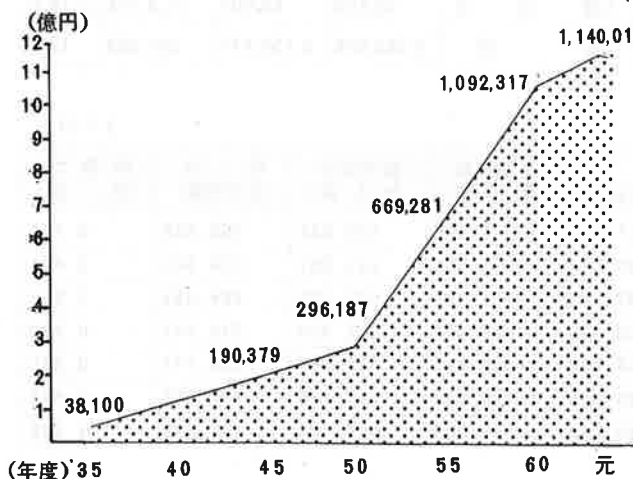
(円)

区分	予算額	決算額	不用額
水道事業費用	150,614,000	148,279,235	2,334,765
営業費用	128,163,000	126,028,860	2,134,140
営業外費用	21,989,000	21,988,904	96
予備費	200,000	0	200,000
特別損失	262,000	261,471	529

(消費税込み)

●町の借金(地方債の推移)

(千円)



●町有財産

平成2年3月31日現在

土地 776,832 m <sup>2</sup>	
建物 26,891 m <sup>2</sup>	
出資による権利 9,527,600円	
土地開発基金 預金 8,100,000円 預託金 23,900,000円	
財政調整基金 1,380,552,840円	
減債基金	40,000,000円
水田農業確立基金	3,810,000円
国民年金印紙購入基金	6,000,000円
し尿収集手数料収入証紙購入運用基金	2,800,000円



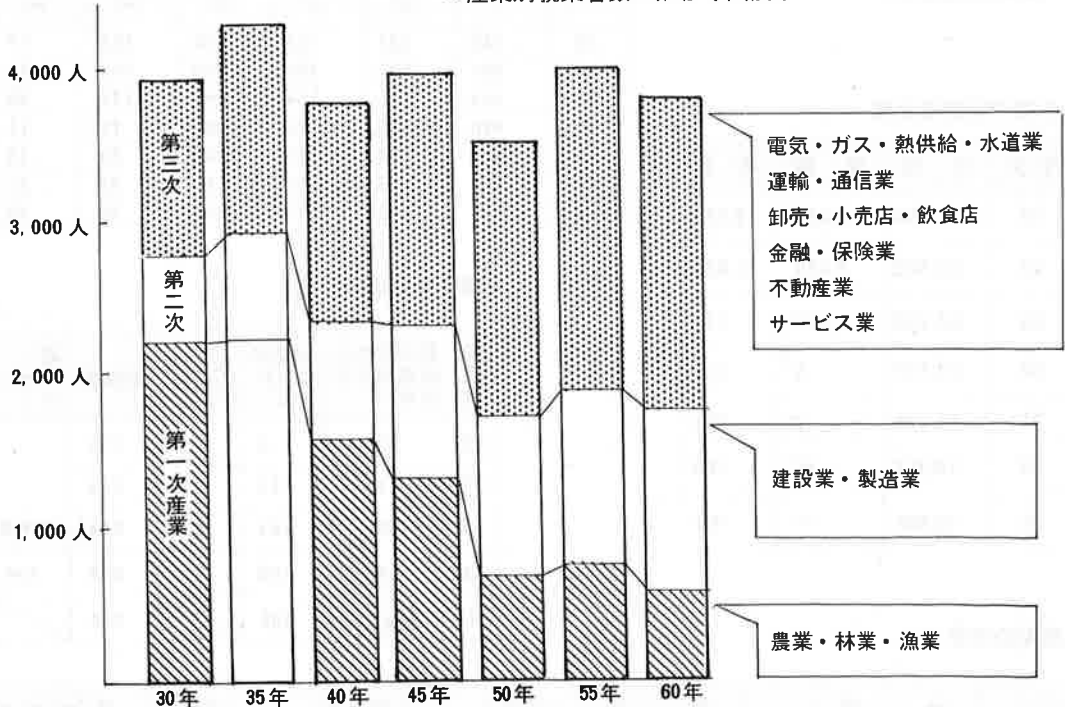
# 産 業

## ● 産業別就業者数

(国勢調査より)

区分	種別	30年		35年		40年		45年		50年		55年		60年	
		就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%
第1次産業	農業、林業、狩猟業 漁業、水産・養殖業	2,223	56.3	2,231	51.9	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4	703	17.8	552	14.4
第2次産業	鉱業、建設業、 製造業	571	14.5	703	16.4	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4	1,156	29.3	1,187	31.1
第3次産業	卸小売業、金融 保険業、その他	1,156	29.2	1,363	31.7	1,415	37.7	1,686	42.2	1,813	51.2	2,085	52.9	2,081	54.5
計		3,950	100.0	4,297	100.0	3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0	3,944	100.0	3,820	100.0

## ● 産業別就業者数の推移 (国調)



## ● 所得者別総所得金額

(単位：千円)

所得者区分	年次	59	60	61	62	63	元
給与所得者		4,632,720	4,073,028	4,793,182	5,094,797	5,337,279	5,324,819
営業所得者		383,393	426,386	430,168	455,082	538,050	550,753
農業所得者		6,321	25,662	11,678	19,831	17,643	11,266
その他事業所得者		389,608	486,756	408,416	411,069	392,631	372,331
その他の所得者		68,924	67,548	64,060	78,130	77,541	357,347
譲渡所得者		286,317	1,042,415	615,078	211,675	284,253	509,395
計		5,767,283	6,751,795	6,322,582	6,270,584	6,647,397	7,125,911

# 農 業

## ●農家数の動き

年 度	総 数	専 業	第1種兼業	第2種兼業
35	745	135	284	326
40	681	49	278	354
45	608	34	198	376
50	470	24	144	302
55	430	23	120	287
60	387	31	25	331
平成元	345	33	22	290

※平成元年度は1990  
世界農林業センサス  
の数値。□は調査  
項目の設定なし。

## ●経営規模別農家数の動き

年 度	総 数	10~	30~	50~	100~	150~	150	例 外
		(a)	(a)	(a)	(a)	(a)	以上	
35	745	221	123	215	157	17	12	
40	681	192	106	199	154	23	7	
45	608	155	104	187	132	30	—	
50	470	96	83	206	71	11	3	
55	430	89	81	185	59	13	3	
60	387	65	66	183	50	21	2	
63	373	62	73	152	59	25	2	

## ●主要作物収穫面積

年 次	水 稻	麦 類	甘 藷
35	33,850	6,230	2,780
40	32,835	2,438	1,629
45	28,108	749	710
50	22,549	4	273
55	19,930	0	251
60	19,357	16	180
元	15,800	—	100

## ●農業機械所有台数

年 度	動力耕うん 機農用トラ クター	自脱型 コンバ イン	米麦用 乾燥機	田植機	軽 トラッ ク	普通 トラッ ク
50	398	3	305	141	62年度より調査	
55	478	113	322	210		
60	501	164	311	254		
62	540	186	293	255	134	27
元	70 (乗用のみ)	199		239		

## ●農家の推移

年 度	農家 数 (戸)	増 減		農家 人口 (人)	増 減		一戸当 たり農 家人口 (人)	町 総 世帯数 (戸)	町総世 帯数に 対する 農家率 (%)	町 総 人 口 (人)	町総人 口に対 する農 家人口 率(%)	経 営 耕 地 面 積			
		数 (戸)	率 (%)		数 (人)	率 (%)						総面 積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	そ の 他 (ha)
35	745	—	—	4,019	—	—	5.4	2,047	36.4	9,273	43.3	467	359	107	1
40	681	△ 64	△ 8.6	3,459	△ 560	△ 13.9	5.1	2,067	32.9	8,815	39.2	449	355	91	3
45	608	△ 73	△ 10.7	2,882	△ 577	△ 16.7	4.7	2,136	28.5	8,475	34.0	418	341	70	7
50	470	△ 138	△ 22.7	2,204	△ 678	△ 23.5	4.7	2,263	20.8	8,484	26.0	300	247	46	7
55	430	△ 40	△ 8.5	1,941	△ 263	△ 11.9	4.5	2,432	17.7	8,486	22.9	290	234	51	5
60	387	△ 43	△ 10.0	1,667	△ 274	△ 14.1	4.3	2,473	15.6	8,468	19.7	283	226	51	6
元	345	△ 42	△ 10.9	1,432	△ 235	△ 14.1	4.2	2,576	13.4	8,280	17.3	238	188	45	5

# 漁

# 業

### ● 年次別組合水揚高

(単位 千円)

種別	御 宿			岩 和 田		
	62年	63年	元年	62年	63年	元年
魚類	186,949	270,701	194,530	490,452	525,872	539,041
貝類	79,563	63,842	57,198	187,664	203,016	137,820
計	266,512	334,543	251,728	678,116	728,888	676,861

### ● おもな魚種別水揚高

(単位：トン)

魚種別	御 宿			岩 和 田		
	62年	63年	元	62年	63年	元
たい	3	3	3	6	6	5
わらさ	1	1	0	0	2	0
ひらめ	2	2	2	8	12	13
さば	1	0	0	0	0	0
ぶり	0	0	0	0	1	3
いか	58	44	155	126	93	318
かつお	76	130	50	147	258	122
いなだ	0	0	0	73	33	46
めじ	10	1	0	23	28	3
まぐろ	1	15	4	0	3	1
さより	1	0	1	0	0	0
このしろ	0	0	0	0	0	0
鮑	7	4	7	12	6	12
さざえ	28	23	5	33	74	23
雑魚	10	13	16	6	49	27
いわし	267	812	213	0	0	0
えび	0	0	0	4	5	6
計	465	1,048	456	438	570	579

### ● 漁港施設

(平成元年)

項 目		御 宿	岩 和 田
漁	けい 船岸延長 (m)	468	738
	外かく施設延長 (m)	652	1,022
	最大入港トン数 (t)	20	9
港	登録漁船隻数 (隻)	71	170
	利用漁船隻数 (隻)	106	172

### ● 漁業協同組合の状況

(4.1現在)

組 合	平成元年			平成2年		
	計	正組合員	準組合員	計	正組合員	準組合員
御 宿	192	117	76	191	116	75
岩 和 田	463	457	7	462	456	6

### ● 漁種別水揚量

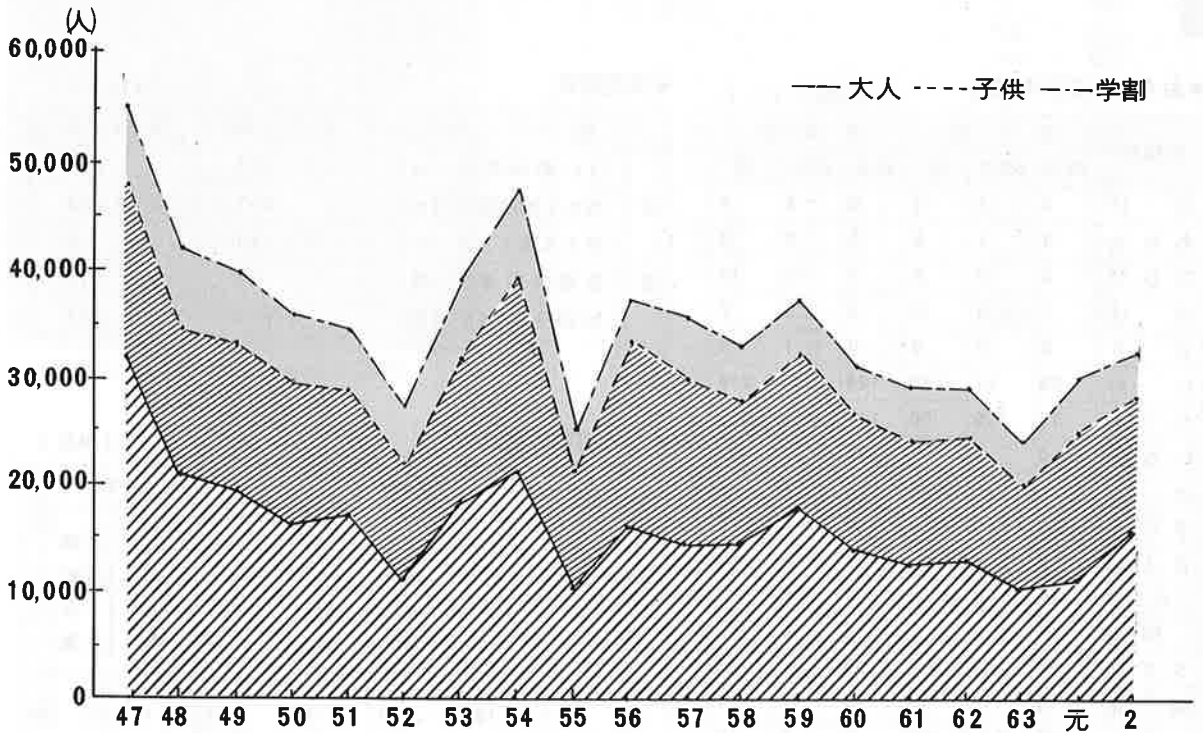
(単位：トン)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	62年	63年	元年	62年	63年	元年
まき網	267	813	213	0	0	0
刺網	6	7	5	67	120	73
さば釣	1	0	0	0	0	0
いか釣	58	44	155	126	93	318
その他の釣	97	157	72	200	326	125
その他の延釣	0	0	0	0	0	0
採貝	35	27	11	45	15	13
採藻	0	0	4	0	0	0
その他の漁業	1	0	0	0	16	50
総計	465	1,048	460	438	570	579

# 観 光

## ● 町営プール

### 入場者数の推移



## ● 観光施設及び入込数

区分		年度						
		40年	45年	50年	55年	60年	63年	元年
観光客数 (人)	夏季	344,000	1,120,000	1,160,000	905,000	1,406,000	762,180	957,000
	年間	396,000	1,310,000	311,000	1,041,000	1,659,000	1,038,000	1,234,000
旅館(軒)		8	20	21	17	17	24	23
民宿(軒)		51	200	250	270	244	280	267
貸家貸間(軒)		108	250	120	117	115	50	40
海の家(軒)		26	33	32	32	31	29	29
駐車台数(有料)		1,307	12,512	15,151	18,018	31,346	25,452	34,385
御宿駅の収入(夏季千円)		19,591	51,389	74,019	89,195	140,748	83,984	97,229
観光収入(推計千円)		249,300	369,000	942,480	1,850,805	3,686,808	2,996,200	3,611,300
町の観光投入額(千円)		4,230	56,000	12,504	20,968	30,434	80,333	105,411

# 商工業

## ●工業（製造業）の状況

年	事業所数	従業者数	年間製造品出荷額
60	35	489	2,259
61	31	449	1,958
62	28	362	1,673
63	31	390	2,023

## ●商業の状況

( 63.6 現在 )

産業中分類	項目	商店数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
卸売業計		7	28	857	
織物、衣服身の回り品小売業		14	45	397	1,459
飲食料品小売業		70	232	2,587	3,073
自動車、自転車小売業		5	12	104	263
家具、建具、じゅう器小売業		16	36	254	488
その他小売業		42	154	1,877	1,517
小売業計		147	479	5,219	6,804
計		154	507	6,076	6,804

# 運輸・通信

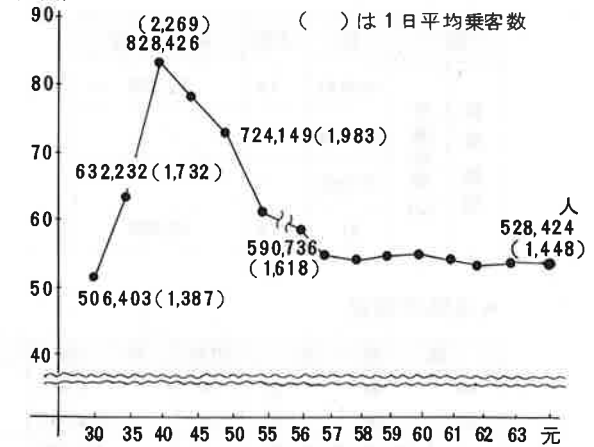
## ●自動車保有台数

( 2. 4. 1 )

車種	御宿町	夷隅郡市計
普通乗用車	71	830
小型乗用車	1,808	21,238
トラック	249	3,925
貨客兼用車	199	2,041
バス	15	166
軽自動車 (4輪)	994	14,205
特殊車	9	344
計	3,345	42,749

## ●御宿駅乗客数

(万人)



## ●電話加入状況

( 12. 31 現在 )

年次	開 通 加 入 電 話 数								
	総 数			単 独 電 話 数			共 同 電 話 数		
	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用
32	184	180	3	180	180	—	—	—	—
50	2,125	994	1,131	1,888	918	970	237	76	161
55	2,879	1,103	1,776	2,689	1,047	1,642	190	56	134
60	3,283	1,185	2,098	3,213	1,173	2,040	70	12	58
61	3,320	1,289	2,031	3,291	1,187	2,104	29	12	17
62	3,420	1,230	2,190	3,395	1,219	2,176	25	11	14
63	3,648	307	2,341	3,628	1,302	2,326	20	5	15
元	3,817	1,371	2,446	3,798	1,366	2,432	19	5	14

# 建設

## ● 建築届出件数の推移

区分 年	専用 住宅	旅館店 舗簡易 宿泊所	共同 住宅	併用 住宅	工場 倉庫	その他	計
60	62	10	1	6	4	8	91
61	52	16	1	8	7	2	86
62	56	7	6	9	5	16	99
63	121	6	3	9	6	19	164
元	101	6	4	6	4	12	133

## ● 林道の現況

項 目		本数	数 値
林業 施設	市町村	13	12,566 m
	国 有	—	—
	その他	—	—
	計	13	12,566

## ● 町道の内訳

(2.4.1)

項 目		数 値
道	実 延 長 (m)	239,759
	路 面 面 積 (m)	681,662
	改 良 済 延 長 (m)	52,155
	舗 装 済 延 長 (m)	68,656
	自動車交通不能道延長 (m)	135,410
	歩 道 延 長 (m)	5,603
	防 護 棚 延 長 (m)	5,523
	歩 道 橋 (m)	2ヶ所 27
路	市町村道と鉄道 との交差箇所数	7
	うち立体 交差箇所数	4

実延長 の内訳	1.5 m ~ 5.5 m (m)	89,504
	5.5 m 以上 (m)	14,845
	計	104,349

## ● 道路の現況

(2.4.1)

路 線 名		単位	町 道	県 道	国 道	計		
路 線 数	実 延 長	m	1,431	4	1	1,436		
	内 訳		239,759	10,813	3,754	254,326		
内 訳	改 良 済 延 長	m	52,155	5,440	3,754	61,349		
	未 改 良 延 長	m	187,604	5,373	—	192,977		
内 種 別	橋 梁 延 長	m	91ヶ所 537	117	14	668		
	隧 道 延 長	m	9ヶ所 449	71	339	859		
幅 員 別 内 訳	改 良 済	1.3 m 以上	m	39	7	—	46	
		5.5 m 以上	m	14,845	5,433	3,754	24,032	
		5.5 m 未満	m	37,310	—	—	37,310	
	未 改 良	5.5 m 以上	m	—	—	—	—	
		3.5 m 以上	m	—	5,373	—	5,373	
3.5 m 未満	m	187,565	—	—	187,565			
自動車交通不能		m	139,197	—	—	139,197		
路 面 別 内 訳	砂 利 道		m	171,102	—	—	171,102	
	舗 装 道	セメント系	m	4,527	84	339	4,950	
		アスファ ルト系	高級	m	—	7,826	3,415	11,241
			簡易	m	64,130	2,903	—	67,033
		計	m	68,657	11,258	3,754	83,669	



# 防 災

## ● 災害時の避難場所

名 称	所在地	電 話
御宿小学校	久保2085	68-2009
御宿中学校	新町68	68-2101
岩和田小学校	岩和田1075	68-2254
岩和田青年館	〃 788	68-4392
サンドスキー場 (避難集合地)	〃 1354	
布施小学校	上布施909	68-2437
実谷区民館	実谷586	68-5970
八坂神社 (避難集合地)	須賀525	
御宿家政高校	久保1551	68-2911
B & G海洋センター ター体育館	〃 1135	68-4143

## ● 消火栓の設置場所

番号	消火栓所在地	地区	番号	消火栓所在地	地区
1	元湯温泉	浜	31	滝口松蔵	新
2	式田み	浜	32	伊藤勤助	新
3	大谷福蔵	浜	33	鈴木秀樹	新
4	米本良司海岸店	浜	34	岩瀬齒科	新
5	春日荘前海岸案内所	浜	35	天の守・熊谷喜	新
6	はまや商店	浜	36	鶴岡	新
7	渡辺松一	浜	37	松谷弘	新
8	浜天王一台	浜	38	水谷印	新
9	君塚洋	須賀	39	鈴木木	新
10	鶴岡	須賀	40	新板垣	新
11	伊藤藤治	須賀	41	板垣健	六
12	本吉	須賀	42	鷹中	六
13	佐伯	須賀	43	金井三男	六
14	渡辺治	須賀	44	立石明男	六
15	須賀三ツ	須賀	45	柳健吉(補生堂)	六
16	滝口清次郎	須賀	46	幸保常	六
17	日高五郎	須賀	47	清水礼	六
18	中央海岸駐車場料金所	須賀	48	小川	岩
19	三上信雄	須賀	49	大野元	岩
20	君塚盤美	久保	50	水野八郎	岩
21	大地寿子	久保	51	水上定	岩
22	大井上千	久保	52	氏原	岩
23	天津英之男	久保	53	専修大学セミナーハウス	岩
24	白鳥重和	久保	54	木原政吉	岩
25	御宿中踏切寄道	久保	55	江沢政雄	岩
26	南畑田	久保	56	畑中芳造	岩
27	才夕フク綿	久保	57	嶋村敏夫	岩
28	遠藤智子	久保	58	藤井昭	岩
29	町堂グランド	久保	59	埋田勝弘	岩
30	秋葉賢	新			

## ● 消防の施設状況

2. 3. 31

消 防 ポ ン プ 車	7
水 そう 付 ポ ン プ 車	1
小 型 ポ ン プ	3
指 揮 広 報 車	1
防 火 水 そ う	82
消 火 栓	59

## ● 消防団

団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
1	3	15	8	9	49	180	265

## ● 火災事故発生件数

年 次	火 災 件 数				焼 失 面 積 (㎡)		損 害 額 (千円)
	総 数	建 物	山 林 原 野	そ の 他	建 物	山 林 そ の 他	
60	0	0	0	0	0	0	0
61	3	2	1	0	212	1,500	12,957
62	0	0	0	0	0	0	0
63	0	0	0	0	0	0	0
元	0	0	0	0	0	0	0

## ● 防災無線 (元年度末現在)

戸別受信機	1,870世帯
固定系システム	27ヶ所
移動系システム	

基地局(制御器6台)	1局
陸上移動型、車携帯型	17局
シヨルダ型	8局
携 帯 型	3局

## ● 交通事故発生件数の推移

(1. 1 ~ 12. 31)

年	区分	発生件数	死者数	負傷者数
60		49	0	71
61		31	1	39
62		54	1	82
63		50	0	84
元		56	0	90



# 環 境

## ● ゴミ収集の状況

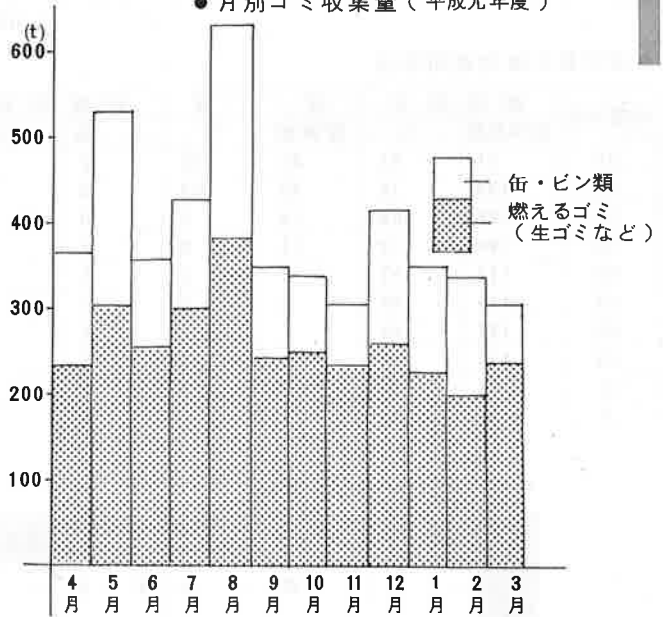
区分 年度	可燃物	不燃物	合計	燃却日数
62	3,218 <sup>t</sup>	544 <sup>t</sup>	3,762 <sup>t</sup>	155 <sup>日</sup>
63	3,484	654	4,138	165
元	3,165	1,620	4,785	168
2 (4~9月)	1,889	793	2,682	103

## ● し尿

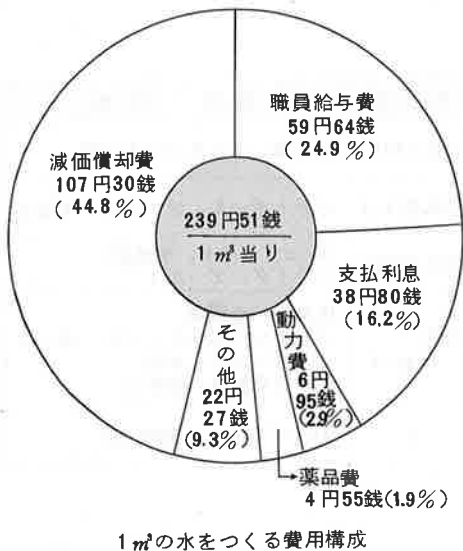
(夷隅郡環境衛生組合)

1. 処理計画人口 (人)	8,245
(1) 非水洗化人口 (人)	4,591
(イ) 計画収集人口 (人)	4,087
(ロ) 自家処理人口 (人)	504
(2) 水洗化人口 (浄化槽人口) (人)	3,654
2. し尿収集の状況 (㌔)	4,132
(1) し尿 (㌔)	1,941
(2) 浄化槽汚泥 (㌔)	2,191
収集職員数 (人)	3
バキューム車 (台)	1

## ● 月別ゴミ収集量 (平成元年度)



# 上 水 道



## ● 水道ダイジェスト (平成元年度決算から)

区 分	単位	元年度	63年度	増 減
年度末給水人口	人	4,637	4,539	98
年度末給水戸数	戸	1,791	1,639	152
年間取水量	m³	705,450	601,855	103,595
年間給水量	m³	668,690	577,283	91,407
年間使用水量	m³	565,249	505,770	59,479
1カ月平均給水量	m³	55,724	48,107	7,617
1カ月平均使用水量	m³	47,104	42,148	4,956
1日最大給水量	m³	4,700	4,470	230
1日最大使用水量	m³	4,315	4,139	176
1戸1カ月平均使用水量	m³	26.3	25.7	0.6
1人1日平均使用水量	ℓ	334	305	29
月平均給水収益	千円	9,112	8,075	1,037
給水原価	円・銭	239.51	273.43	△ 33.92
資本費	円・銭	146.09	178.67	△ 32.58
施設利用率	%	30.0	26.4	3.6

# 教 育

## ● 町立小・中学校の児童・生徒・教職員数

(2.5)

学校名	児童生徒数	学級数	職員数	事務養職員	調理員	用務員
御宿中	357	11 (1)	22	1	3	
御宿小	332	13 (2)	18	2	4	
岩和田小	99	7 (1)	12	1		
布施小	166	7 (1)	11	1		1
計	954	38 (5)	63	5	7	1

( )はうち特殊

## ● 児童・生徒数の推移

年度	児童生徒数		
	総数	小学校	中学校
30	2,063	1,659	404
40	1,828	1,153	675
50	1,220	848	372
60	1,155	773	382
61	1,136	755	381
62	1,080	714	366
63	1,039	670	369
元	1,003	635	368
2	954	597	357

## ● 中学校卒業生進路状況

卒業年度	高校進学		就職		各種学校		計
	進学者数	%	就職数	%	人数	%	
35	71	51	66	48	2	1	139
45	130	72	42	23	8	5	180
50	128	88	10	7	8	5	146
55	124	87	11	8	7	5	142
60	117	97	2	2	1	1	120
61	115	92	5	4	5	4	125
62	127	95	4	3	2	2	133
63	116	94	3	2	5	4	124
元	113	95	5	4	1	1	119
2	109	93	8	7	-	-	117

## ● 社会教育施設利用状況

(人)

年 度	公 民 館		資 料 館		海洋センター体育館		同 プ ール	
	一 日	年 間	一 日	年 間	一 日	年 間	一 日	年 間
	平 均	利用者数	平 均	利用者数	利用者数	利用者数	平 均	利用者数
62	111.6	33,703	7.6	2,301	173	51,376	94	12,195
63	107.5	32,358	7.2	2,164	169	49,612	142	12,921
元	102.5	31,061	8.4	2,530	167	48,982	137	13,056

## ● 文 化

名 称	所在地	施設・内容
公 民 館	久保2200	調理実習室、和室、茶室 大ホール、大・中会議室 クラブ集会室、絵画工作 室、視聴覚室 図書室、蔵書約6,500冊
歴史民俗 資料館	久保2200	展示室、町指定文化財、 メキシコ関係、考古、歴 史、農具・漁具関係 約970点展示
月の沙漠 記念館	六軒町 505-1	1F 企画展示室 2F 加藤まさを展示室 映像展示室 野外ステージ

## ● スポーツ

名 称	所在地	施設・内容
町営野球場	久保1135	野球場、テニスコート3面
須賀多目的広場	須賀514-1	ゲートボール、ソフトボールなど
町営プール	須賀2208	50mプール1、子供用1 スライダープール1
海洋センター	久保 1135-1	体育館、会議室 バスケットボール、バレーボール バドミントン、卓球 その他(剣道、空手)
海洋センター プ ール	"	25mプール1、幼児用1

# 姉妹都市

【姉妹都市】  
アカプルコ市（メキシコ）  
昭和53年8月姉妹都市協定締結



## 指定文化財

区分	番号	名称	所在地 指定地	所有者 又伝承地	指定年月日
県指定	1	ドン・ロドリゴ上陸地	御宿町岩和田 626	御宿町	41. 12. 2
町指定	1	ドン・ロドリゴ関係遺品	御宿町久保 1, 916	岩瀬 禎之	49. 3. 27
〃	2	木造阿弥陀如来坐像	御宿町浜 572 - 1	妙音寺	〃
〃	3	亀甲地双鶴鏡	〃	〃	〃
〃	4	白銅鏡	〃	〃	〃
〃	5	木造大日如来坐像	御宿町上布施 1, 474	真常寺	〃
〃	6	木造如意輪観音坐像	〃	〃	〃
〃	7	十王堂縁起	御宿町六軒町	十王堂	〃
〃	8	最明寺夫婦銀杏	御宿町須賀 668	最明寺	53. 3. 27
〃	9	旧役場大蘇鉄	〃 〃 160	御宿町	〃
〃	10	双盤	〃 〃 668	最明寺	54. 6. 27
〃	11	小幡神楽囃子	〃 上布施小幡区	保存会	57. 6. 29
〃	12	高山田神楽囃子	〃 高山田区	保存会	57. 9. 28
〃	13	千人塚供養塔	〃 新町字千人塚	妙昌寺	59. 1. 11
〃	14	閻魔胎内像・十王像	〃 六軒町	十王堂	〃
〃	15	伊勢参宮絵馬	〃 上布施	八幡神社	〃
〃	16	真常寺石塔	〃 上布施 1, 474	真常寺	〃
〃	17	木造阿弥陀如来及び両脇侍像	〃 六軒町	十王堂	60. 2. 12
〃	18	木造阿弥陀如来坐像	〃 浜 618 - 1	観音寺	〃
〃	19	木造傳祐上人坐像	〃 須賀 668	最明寺	〃
〃	20	紙本著色大田喜藩陣列之図	〃 久保 2, 200	御宿町	61. 1. 14
〃	21	旧布施村絵図	〃 実谷	実谷区	62. 2. 19
〃	22	千箇寺参御首題帳	〃 上布施 1, 800	吉野 信	〃
〃	23	孝女竹永志保の碑	〃 上布施 827	上布施区新宿	62. 10. 27

# 御宿町暮らしのダイジェスト

<p>人口密度</p>  <p>1 km<sup>2</sup> に 331 人</p>	<p>家 族</p>  <p>1 世帯に 3.3 人</p>	<p>転 入</p>  <p>0.8 日に 1 人</p>	<p>転 出</p>  <p>0.7 日に 1 人</p>
<p>結 婚</p>  <p>16 日に 1 組</p>	<p>離 婚</p>  <p>183 日に 1 組</p>	<p>出 生</p>  <p>7.2 日に 1 人</p>	<p>死 亡</p>  <p>4.2 日に 1 人</p>
<p>火 災</p>  <p>0 件</p>	<p>交通事故</p>  <p>6.5 日に 1 件</p>	<p>水道使用量</p>  <p>1 人 1 日平均 334 ℓ</p>	<p>ゴ ミ</p>  <p>1 日平均 13.1 トン</p>
<p>町職員</p>  <p>町民 92 人に 1 人 ( 2 年 10 月 1 日現在 )</p>	<p>教 員</p>  <p>小学生 15 人に 1 人 中学生 16 人に 1 人 ( 2 年 5 月 1 日現在 )</p>	<p>商 店</p>  <p>16 世帯に 1 店</p>	<p>町 税</p>  <p>1 人当たりの負担 93,379 円</p>
<p>自動車</p>  <p>1 世帯に 1.3 台</p>	<p>電 話</p>  <p>1 世帯に 1.5 台</p>	<p>救急車出動</p>  <p>2.5 日に 1 件</p>	<p>町の台所</p>  <p>一般会計からの支出額 町民 1 人当たり 295,115 円</p>



# 御宿の唄

## 御宿ブルース

作詩＝古谷玲児

作曲＝八州秀章

唄＝すずらん姉妹

一 あだし人魚よ 七尋八尋

姿いとしや 紺がすり

忘れられよか 忘れてなろか

夢の御宿 海女の町 海女の町

二 星の数ほど 寄せては返す

色もとりどり 人の波

光る砂浜 きらめく渚

夢の御宿 海の町 海の町

三 月のあかりに 二人の胸に

乱れ咲く花 月見草

行こか砂丘へ 戻ろか宿へ

夢の御宿 恋の町 恋の町

## 回想譜

作詩今城靖児／編曲佐伯亮

唄 藤山一郎

一 星みれば はろかに香く

雲みれば つきせぬ想い

去りゆきし 君は話わねど

御宿の ああ 海の恋しき

二 風吹けば 風もさびしや

虫鳴けば 虫もわびしや

ただひとり 山荘にあれば

堪えがたく ああ 涙ながるる

三 朝には あしたの祈り

夕には ゆうへの願い

嫁ぎゆく 妹にのみ

いまはただ ああ 幸をここのみ

## 房州御宿音頭

房州 御宿宝の庫よ

ハンリヤ ドウシタ ドウシタ

海に銀鱗 海に銀鱗 田に黄金

ハンリヤ ヤツサイ

ヤツサイ ドントネ

房州御宿 網代の浜は

銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜

潮は黒潮 流れて巻いて

風は汐風 風は汐風 恋の風

あんな男を梶子にもつて

ぬれて苦労が ぬれて苦労が

してみたい

お前や水底 わしや風の中

つなは一筋 つなは一筋

血が通う

板子一枚いといはせぬが

ぬれるお前が ぬれるお前が

いとおしい

房州御宿旅立つ朝は

雨も降らぬに 雨も降らぬに

袖しほる

舟は帆まかせ 帆は風まかせ

わたしやお前の わたしや

お前の つなまかせ

## 御宿離し

作詩・作曲＝加藤まさを

編曲＝吉野達弥

唄＝中里このえ

一 トンとトンとトンと男波が躍る

躍る男波に抱かれて歌う

女波いとしや月夜の晩は

御宿離して浮かれ出す

二 山にや名物メキシコタワー

浜の砂丘にや王子と姫が

月の沙漠を揺られて越える

対の駱駝の旅姿

三 磯の華かよ岩和田の海女は

浮いて沈んで浮いて

浪がドンと来りや乳房が揺れる

誰が住むやらあの胸に

四 唇は砂丘に浜唇顔が

夜は砂丘に宵待草が

粋な浜風花から花に

若い二人の燃える頬に

五 椰子の葉蔭で佳い夢見たよ

野暮なトウロク 磯パン無しの

可愛い人魚が蠟燭岩で

忘れちゃおえねえ また来てね

## 月の沙漠

作詩＝加藤まさを

作曲＝佐々木すべる

一 月の沙漠を はるばると

旅のらくだが 行きました

金と銀との くらおいて

二つならんで 行きました

二 金のくらは 銀のかめ

銀のくらは 金のかめ

二つのかめは それぞれに

ひもでむすんで ありました

三 先のくらは 王子さま

あとのくらは お姫さま

乗ったふたりは おそろいの

白い上衣を 着てました

四 広い沙漠を ひとすじに

ふたりはどこへ 行くのでしよう

おほろにけがる 月の夜を

ついのらくだは とほとほと

砂丘を越えて 行きました

だまって越えて 行きました



月の沙漠記念館

## 町内の官公署・団体施設一覧

●役場関係		〒 299-51 市外局番 0470
御宿町役場	久保 2200	☎ (68) 2511
公民館	〃 2200	☎ (68) 2947
歴史民族資料館	〃 2200	☎ (68) 4311
月の沙漠記念館	六軒町 505-1	☎ (68) 6389
御宿町児童館	新町 419	☎ (68) 4542
岩和田児童館	岩和田 788	☎ (68) 4392
社会福祉協議会	久保 2200	☎ (68) 2511
御宿海洋センター	〃 1135-1	☎ (68) 4143
清掃センター	〃 1041	☎ (68) 4613
浄水場	実谷 519	☎ (68) 4855
町営運動場(管理棟)	久保 1135	☎ (68) 4794
●学校施設		
御宿保育所	久保 2180	☎ (68) 2459
岩和田保育所	岩和田 926	☎ (68) 2944
御宿小学校	久保 2232	☎ (68) 2009
岩和田小学校	岩和田 1703	☎ (68) 2254
布施小学校	上布施 909	☎ (68) 2437
御宿中学校	新町 68	☎ (68) 2101
県立御宿家政高等学校	久保 1511	☎ (68) 2911

●警察		
駅前駐在所	須賀 188	☎ (68) 2100
六軒町駐在所	六軒町 488	☎ (68) 2719
布施駐在所	上布施 875	☎ (68) 4499
●その他		
御宿駅	須賀 191	☎ (68) 2053
御宿郵便局	新町 397	☎ (68) 2871
布施郵便局	上布施 1400	☎ (68) 2870
御宿町漁業協同組合	浜 2164	☎ (68) 2611
岩和田漁業協同組合	岩和田 945	☎ (68) 2011
夷隅中央農協御宿支所	須賀 167	☎ (68) 2424
運輸省御宿航空標識所	岩和田 1171-3	☎ (68) 2654
御宿町観光協会	久保 2200	☎ (68) 2414
御宿町体育協会	〃 2200	☎ (68) 2947
御宿町商工会	〃 2200	☎ (68) 2818
御宿町商店振興会	〃 2200	☎ (68) 2818
御宿町民宿組合	須賀 191	☎ (68) 2325
御宿町旅館組合	〃 191	☎ (68) 4419

●発行 / 千葉県御宿町 ●発行責任者 / 滝口栄蔵 ●編集 / 町総務課